1. 米の食味ランキングの概要

1. 道府県から選出のあった143産地品種について食味官能試験を行いました。

2. その結果は、

① 特Aは39産地品種で、5年産に比べ4産地品種減少しています。
② Aは76産地品種で、5年産に比べ2産地品種減少しています。
③ A’は28産地品種で、5年産に比べ5産地品種増加しています。
④ B及びB’に該当する産地品種はありません。

年産 / ランク	令和4年産	令和5年産	令和6年産
特A	40	43	39
A	91	78	76
A’	21	23	28
B	0	0	0
B’	0	0	0
合　計	152	144	143

3. 年産米の特Aランクの品種別にみた産地品種数

品　種　名	令和5年産	令和6年産	品　種　名	令和5年産	令和6年産
コシヒカリ	7	9	ななつぼし	1	1
★ きぬむすめ	6	7	★ はれわたり	1	1
★ にこまる	6	4	ひとめぼれ	1	1
★ つや姫	4	3	★ みずかがみ	1	1
★ 雪若丸	1	2	ミネアサヒ	1	1
あきたこまち	1	1	★ 夢しずく	1	1
あきほなみ	1	1	ゆめぴりか	1	1
★ いちほまれ	1	1	★ 元気つくし	1	0
銀河のしずく	1	1	ヒノヒカリ	2	0
★ 彩のきずな	1	1	森のくまさん	1	0
★ さがびより	1	1	恋の予感	1	―
★ サキホコレ	1	1	品　種　数	43	39

※ ★は高温耐性品種。

4. ランクの動向

令和5年産のAから令和6年産で特Aランクになったものは6産地品種ありました。
令和5年産の特Aから令和6年産でAになったものは7産地品種ありました。
令和5年産のA’から令和6年産でAになったものは13産地品種ありました。
令和5年産のAから令和6年産でA’になったものは17産地品種ありました。

前回Aから今回特Aに移行したもの（6産地品種）			前回特Aから今回Aに移行したもの（7産地品種）		
宮城		つや姫	静岡	西部	きぬむすめ
山形	庄内	雪若丸	島根		つや姫
富山		コシヒカリ	岡山	県南	にこまる
和歌山	県北	きぬむすめ	福岡		元気つくし
山口		きぬむすめ	長崎		にこまる
徳島	南部	コシヒカリ	熊本	県北	森のくまさん
			大分	豊肥	ヒノヒカリ

前回A’から今回Aに移行したもの（13産地品種）			前回Aから今回A’に移行したもの（17産地品種）		
北海道		ふっくりんこ	群馬	中毛	ゆめまつり
青森		まっしぐら	群馬	北毛	コシヒカリ
岩手	県中	あきたこまち	埼玉	県北	彩のきずな
秋田	中央	あきたこまち	千葉	県北・県南	ふさおとめ
福島	中通り	コシヒカリ	静岡		コシヒカリ
福島		天のつぶ	静岡	中部	きぬむすめ
埼玉	県東	彩のきずな	愛知		コシヒカリ
千葉	県南	コシヒカリ	京都	丹波	キヌヒカリ
新潟	下越	コシヒカリ	奈良		ヒノヒカリ
新潟		こしいぶき	山口		コシヒカリ
石川		ゆめみづほ	香川		コシヒカリ
長野	中信	コシヒカリ	愛媛		コシヒカリ
鳥取		コシヒカリ	高知		ヒノヒカリ
			長崎		なつほのか
			宮崎	沿岸	ヒノヒカリ
			宮崎	西北山間	ヒノヒカリ
			宮崎	霧島	ヒノヒカリ

5. 米の食味ランキング試験で初めて対象となった産地品種の食味ランク

産地	地区	品種名	ランク
愛媛		ひめの凛	A’